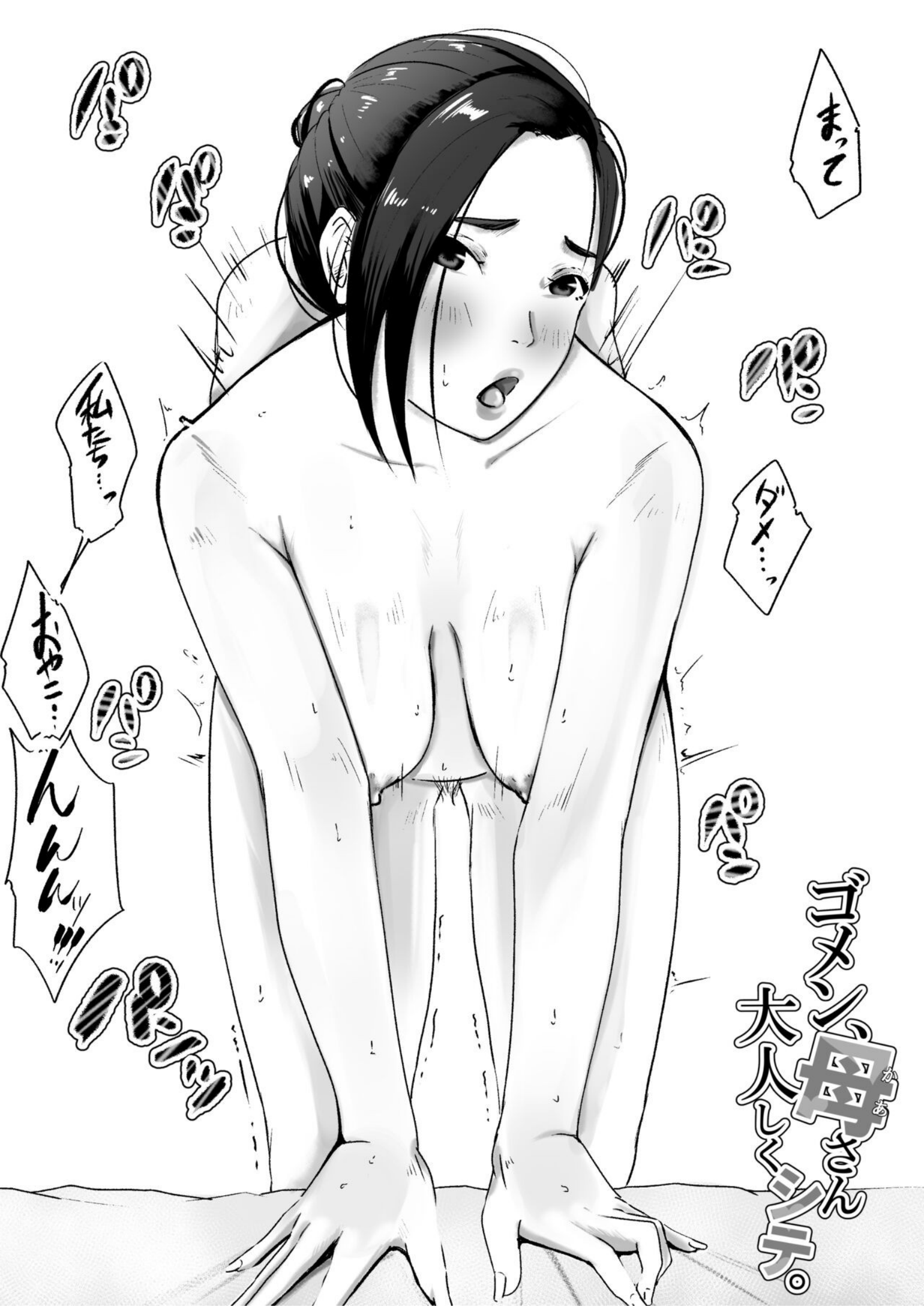




グナ
ス
ハ
母
ニ
ミ
テ。



まっこ

んん

ダメ...

んん

ゴメン、母さん大人しくシテ。

んん

んん

んん

私たち...

おや...
んん

んん

んん



元気ないわね…。

何かあった？

そう…？

ハッ…

それなら
いいけど…

何でもないよ。

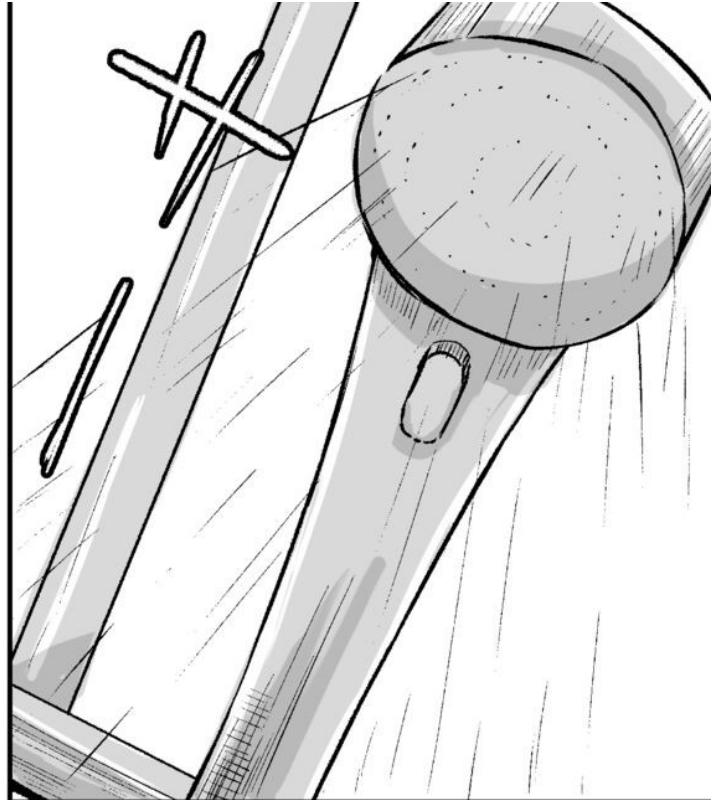
気にしないで。

ガチャ

母さん。
バスタオル
出しといて。

バタッ

え…っ
今から入るの？



目が怖いって
なんだよ…

変態みたい？
ふざけるな…ッ

確かにキスしたいとか

唇に触りたいとか…

少しは考えるけど、普通だろ!!

はま

はま

あ。あと、うなじ舐めてやりたいな…。
耳の裏からペロペロペロ…

やべ…。想像したら
勃起してきた。

取り合えず、あの子で
抜いとくか。

ガチャ

ん？



もう…何恥ずかし
がってるの？

私たち親子でしょ？
少し前でよく一緒に
入ってたじゃない。

ゴニ
ゴニ

ふふっ
はいはい

ゴニ

ゴニ

なあんだ。
元気そうじゃない。

む、昔の話だろうっ

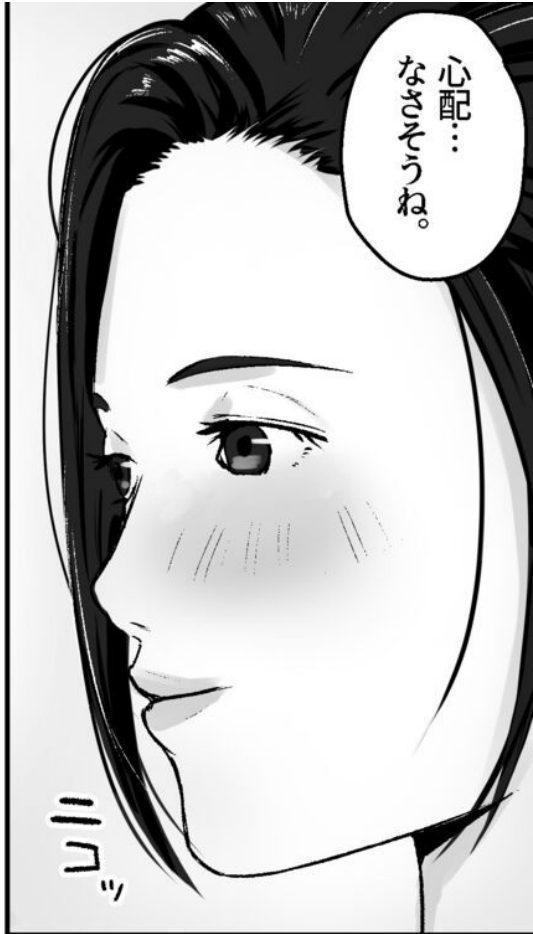
もう子供じゃ
ないんだし…っ

ヒュッ



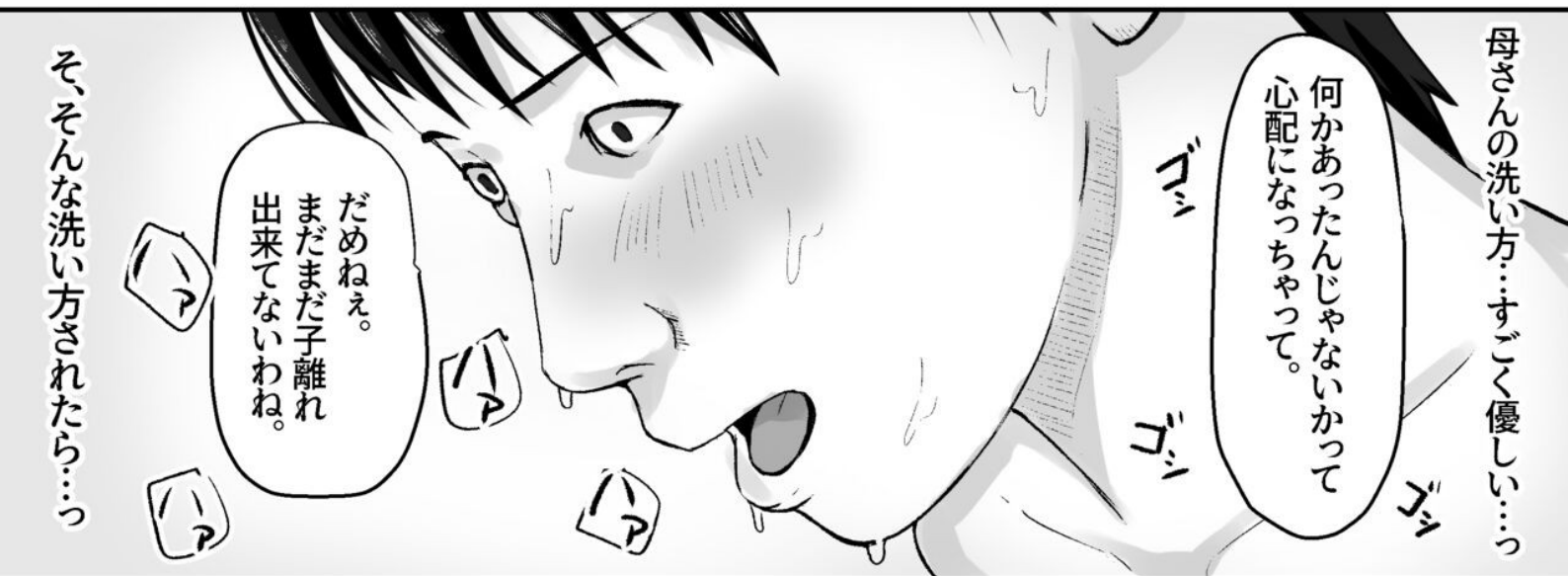
やばいやばいっ
おさまれっ
早くおさまれえっ

だから、大丈夫って
言ってるじゃんっ



心配…
なそうね。

ニコッ



だめねえ。
まだまだ子離れ
出来てないわね。

そ、そんな洗い方されたら…っ

何かあったんじゃないかって
心配になっちゃって。

母さんの洗い方…すごく優しい…っ



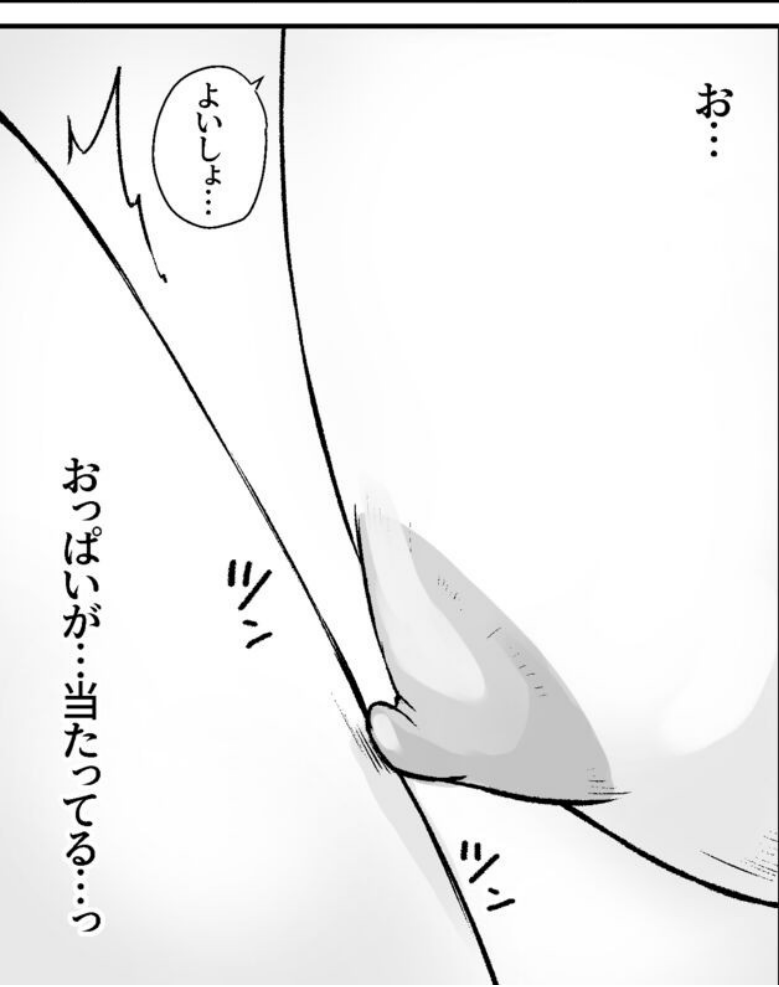
か、母さん…っ

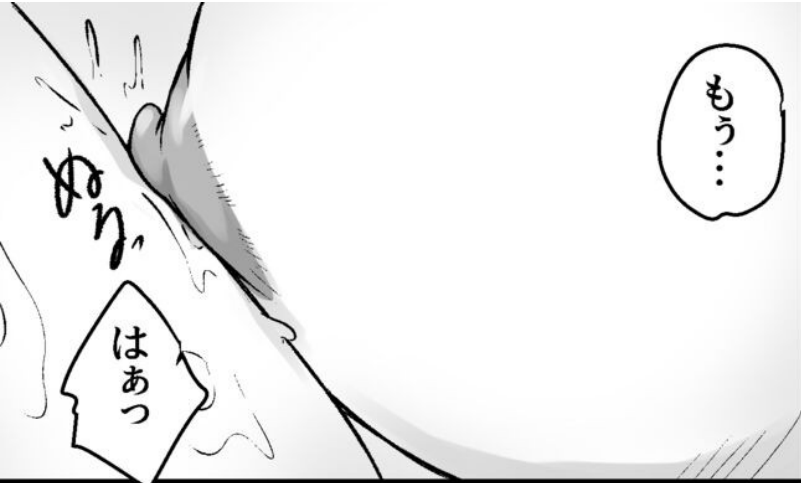
遅しく
なったわねえ。



それにしても…







もう...

はあっ



んっ

はう

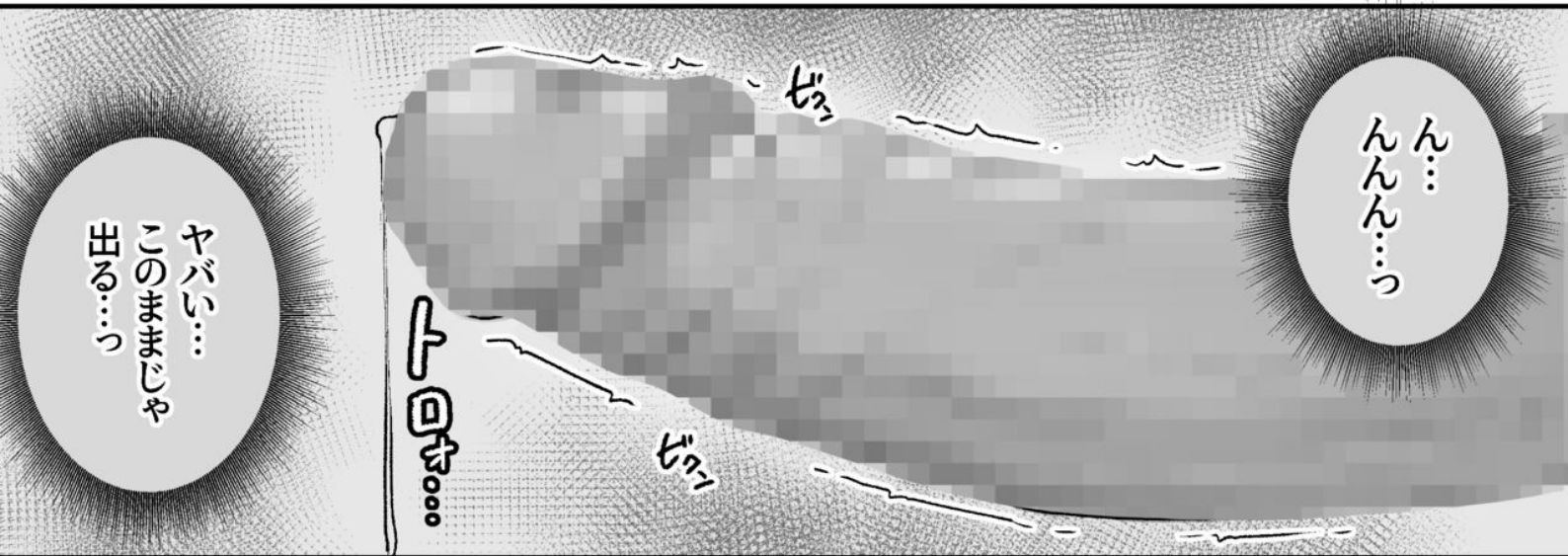
むにゅん



む...

やっぱり
少しこっち
向けない？

だ、ダメっ!!



ん...
ん...
ん...
ん...

やばい...
このままじゃ
出る...

トロち...



もう...

10
4

分かったわよ。



あ、あのさ...
マジで出て行ってくんない？

じゃあ、ちゃんと
洗いなさいよ。

た…助かった…っ

これ以上、居座られたら…

ゲッ

勃起がバレてたからな…

か、母さん…

ビクッ

ビクッ

も、もう

グクリ…

我慢できないよ…

ハッ

ニッ

ドア越しに丸見え…っ



ごめんッ

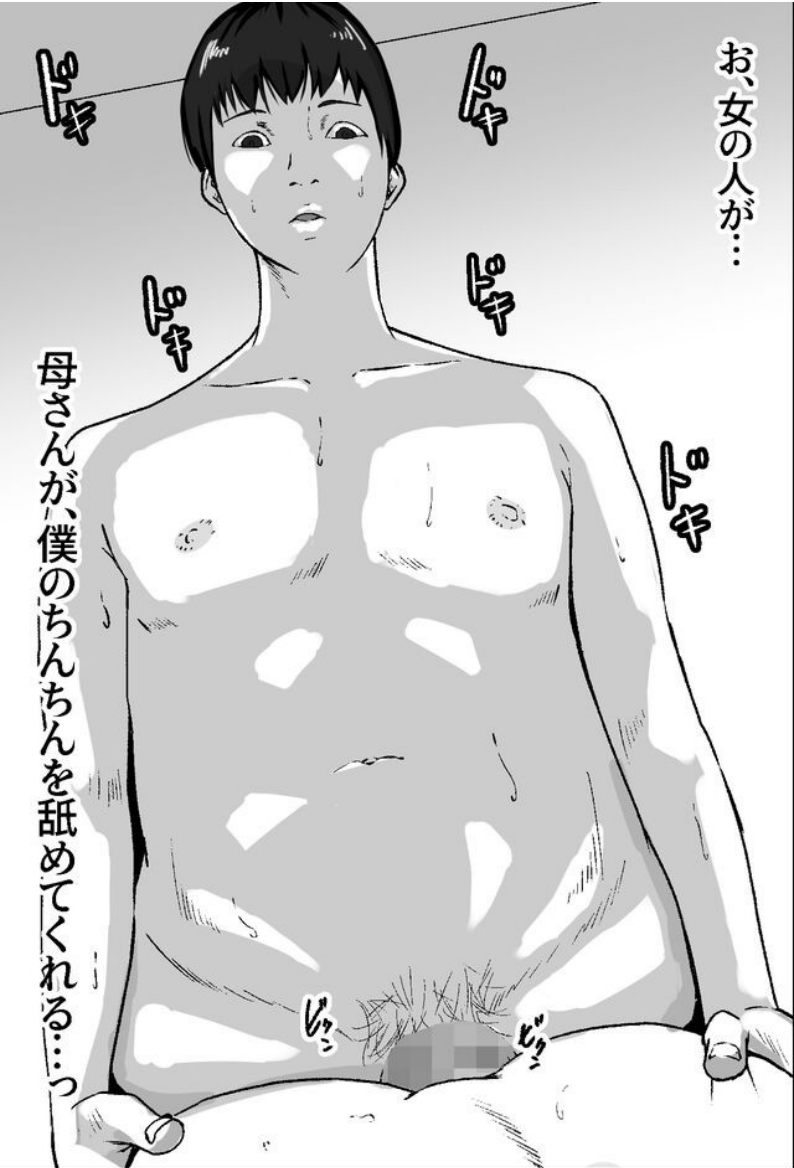
母さん...ッ

きゅっ

えっ?
な、何っ!?

ギョッ





お、女の人が…



本当に…
いいの…?

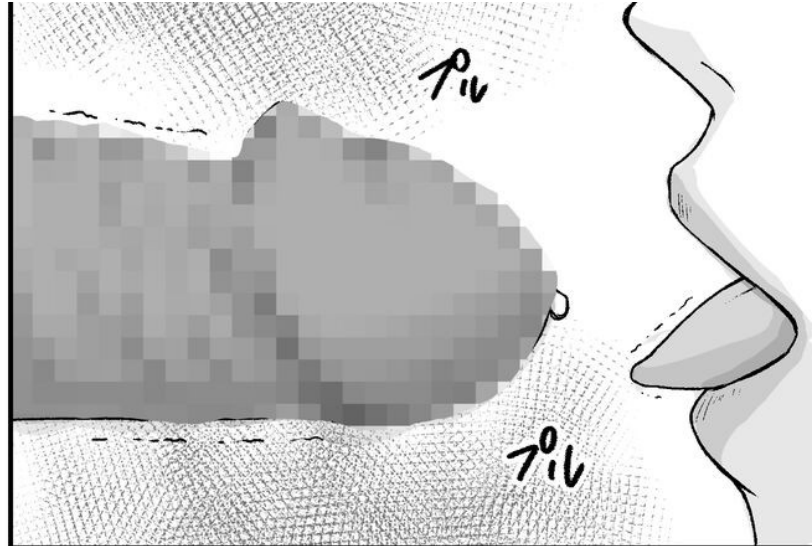
だから…
一度落ち着いて…っ



舐めるわよ…?

母さんが…母さんが…
僕のちんちんを自分から…っ!?

…っ?!



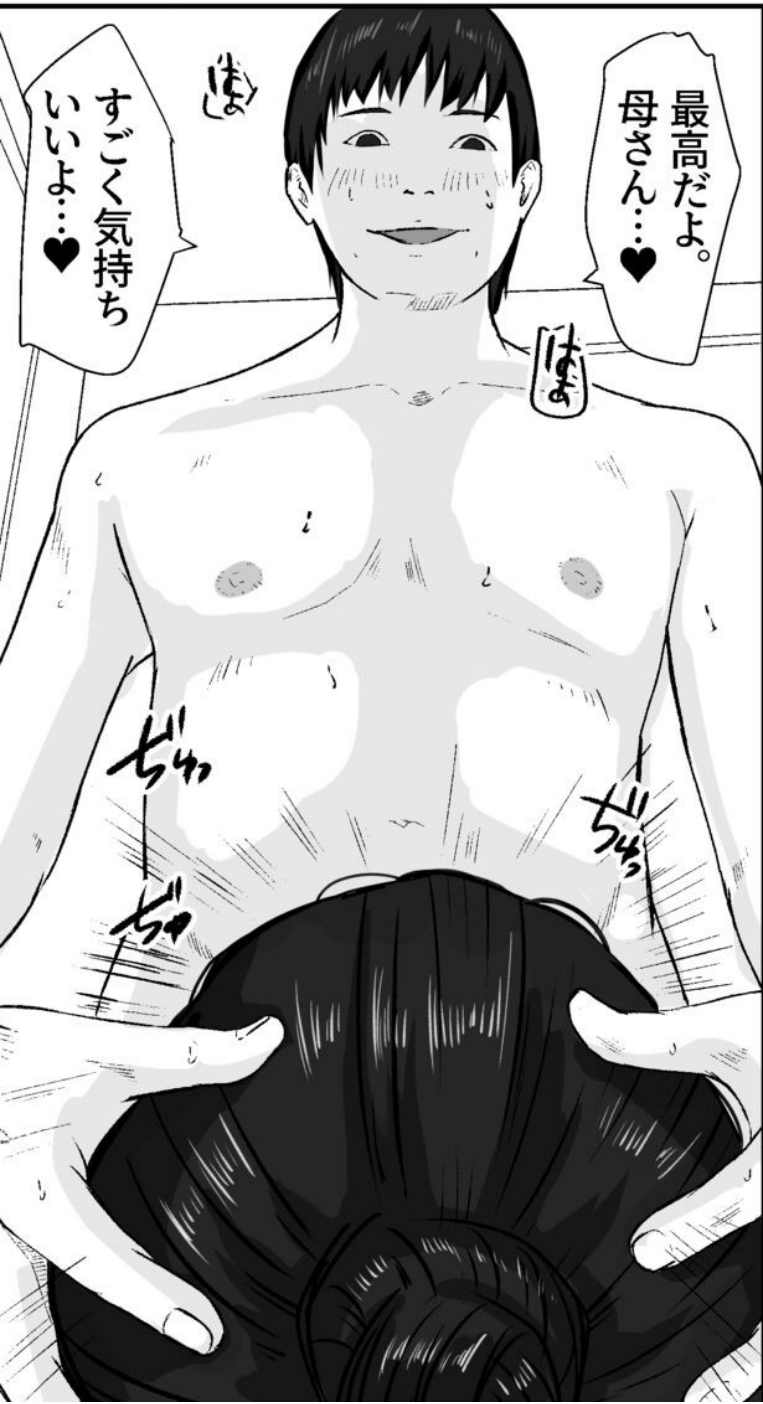
母さんが、僕のちんちんをしゃぶってる...

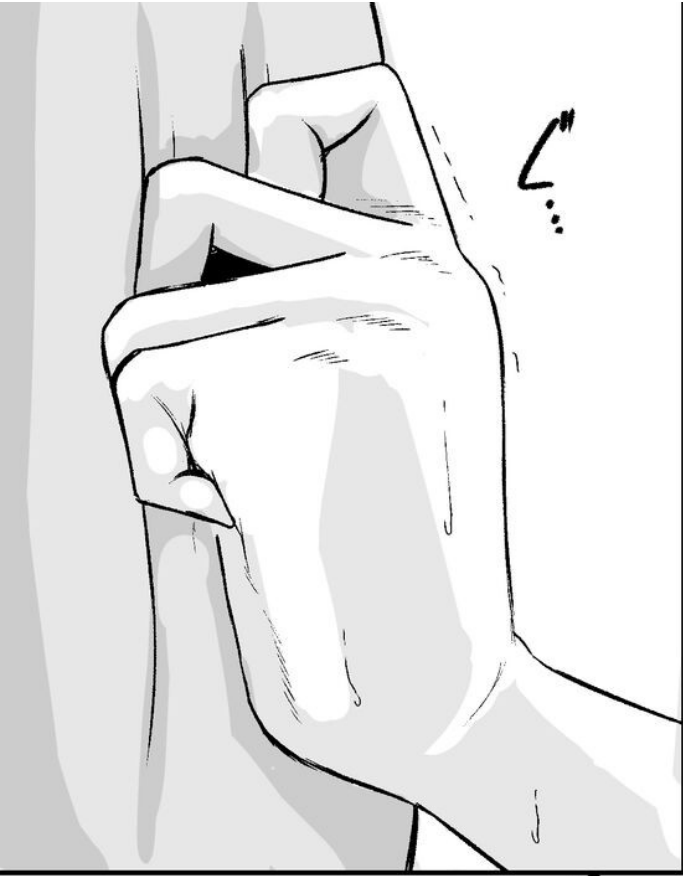
やべえ…：すげえ気持ちいい…っ
脳みそがトロけそう…っ

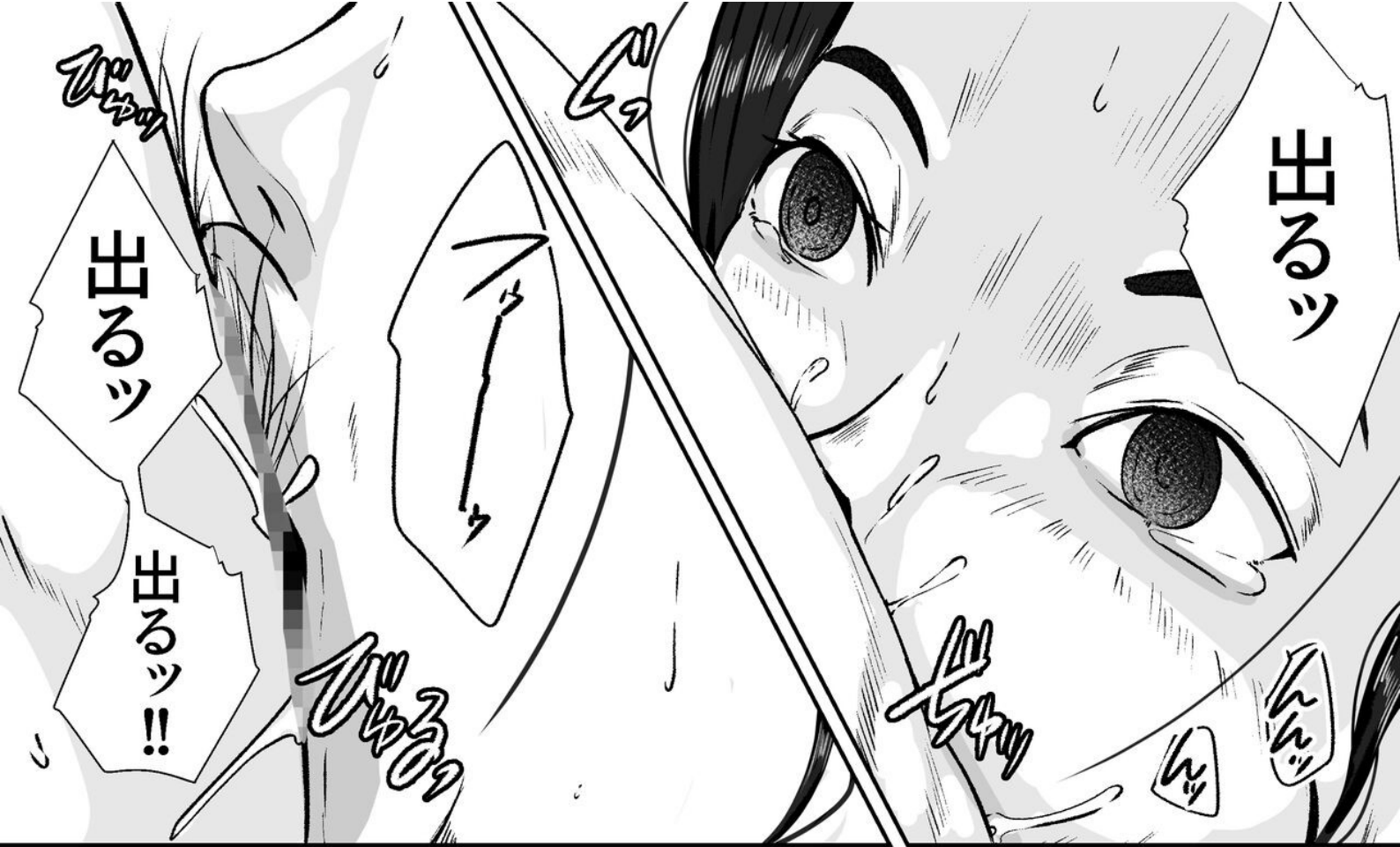


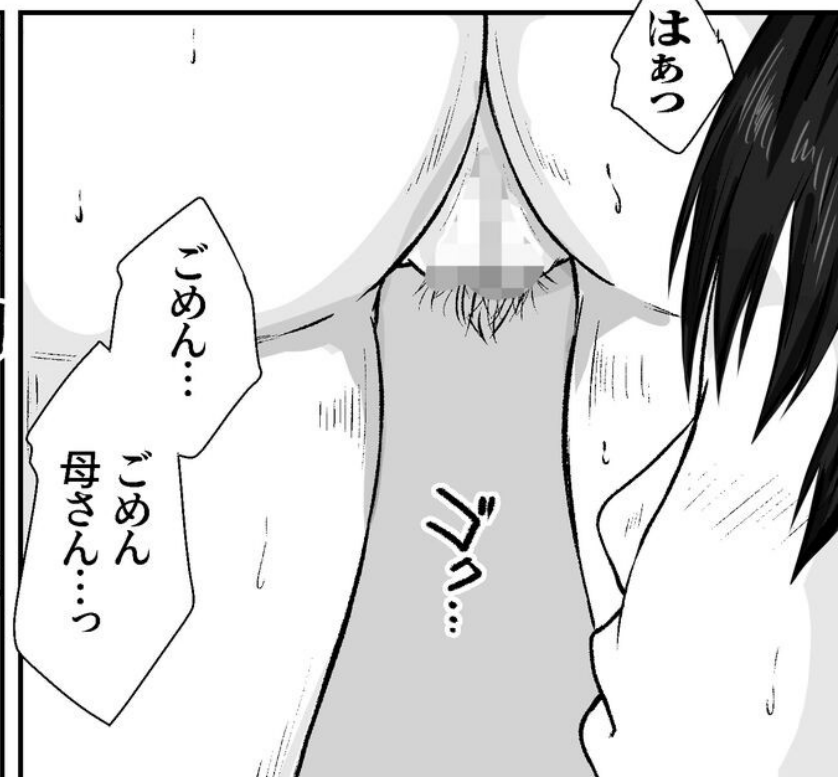
気持ち良すぎて…



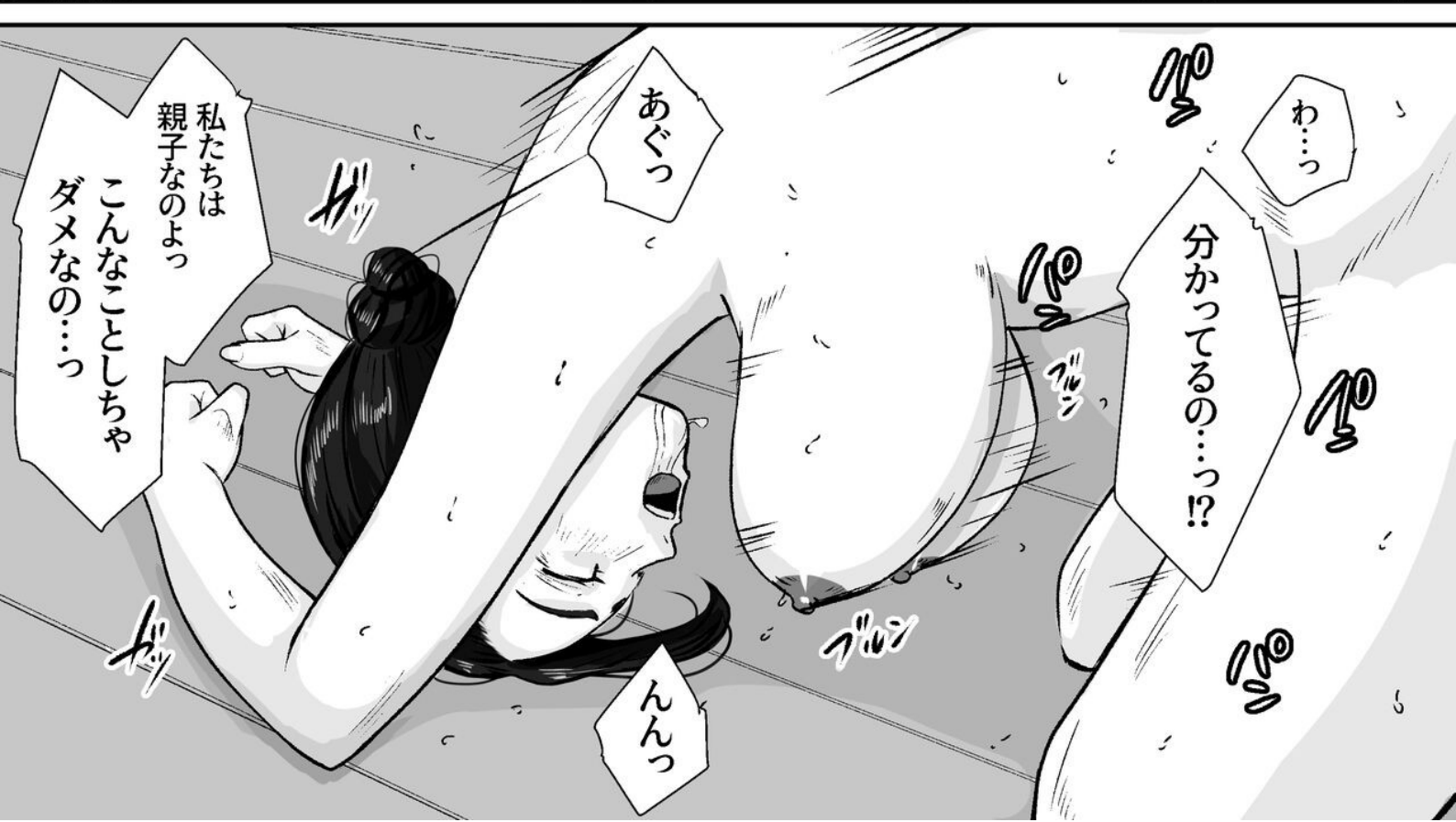
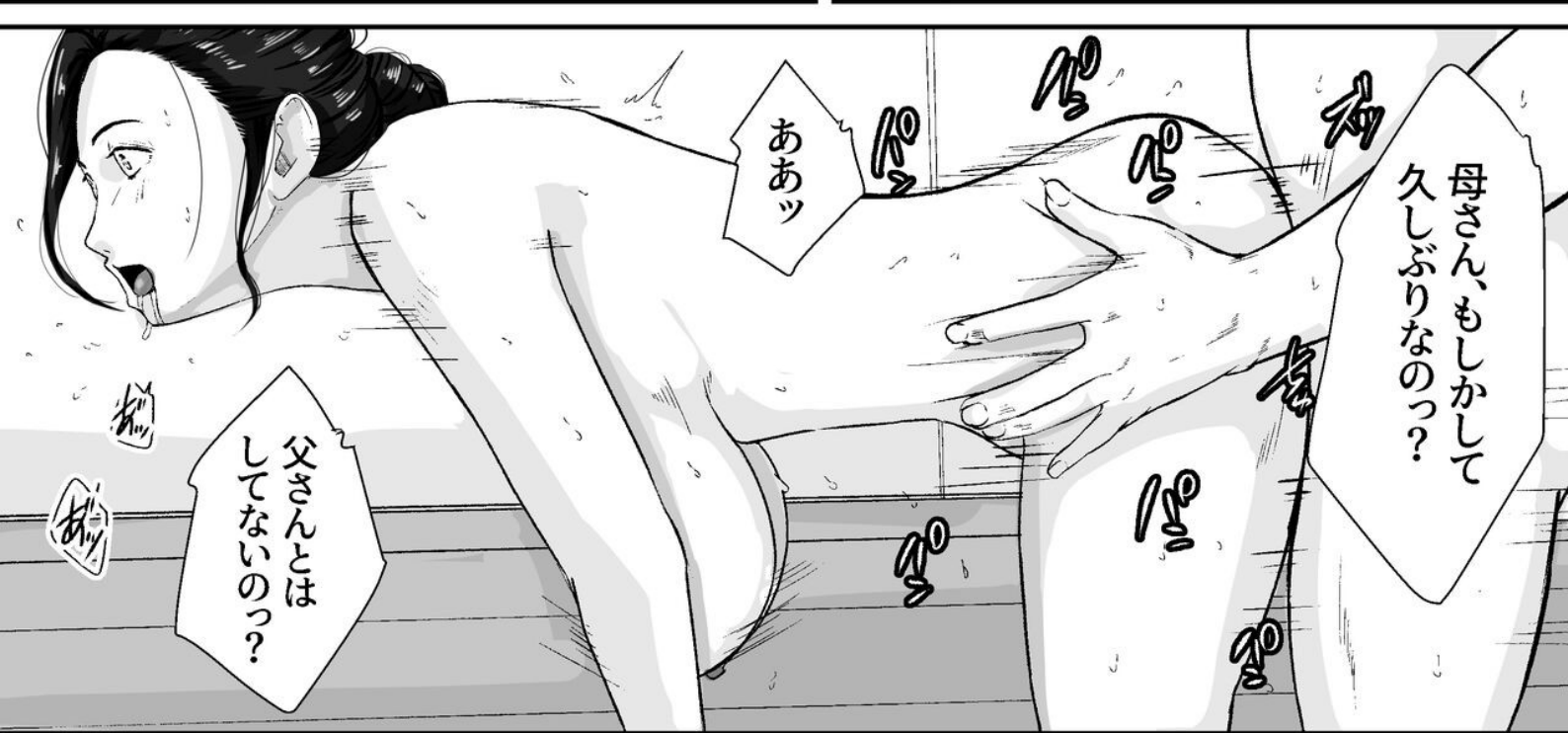




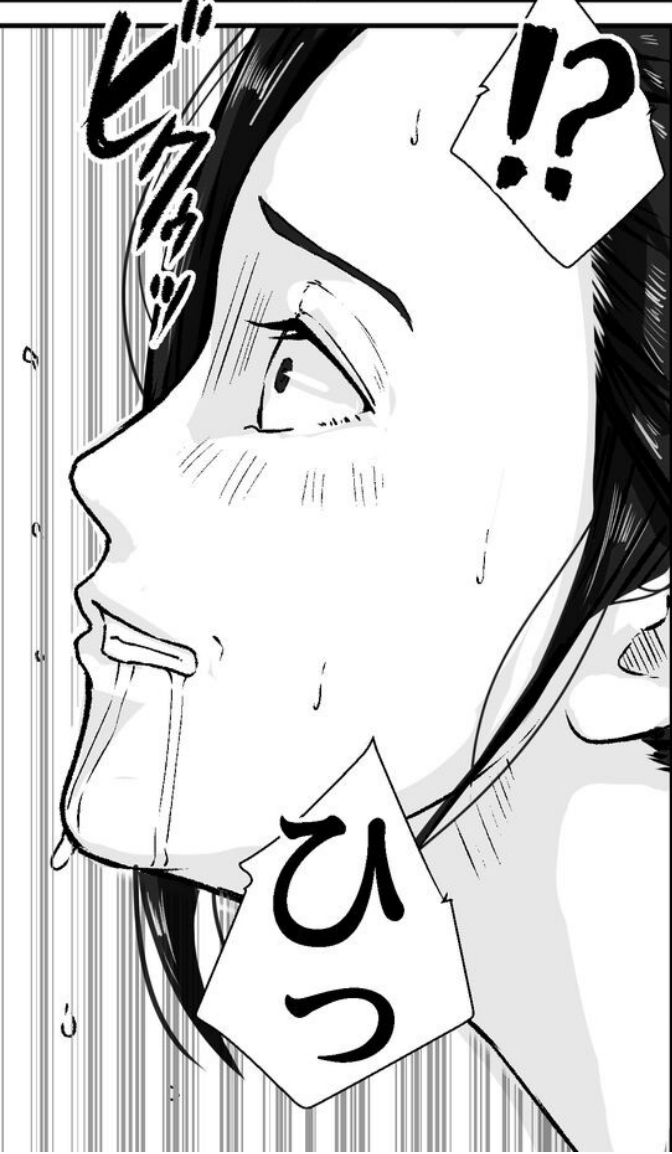












[illegible]

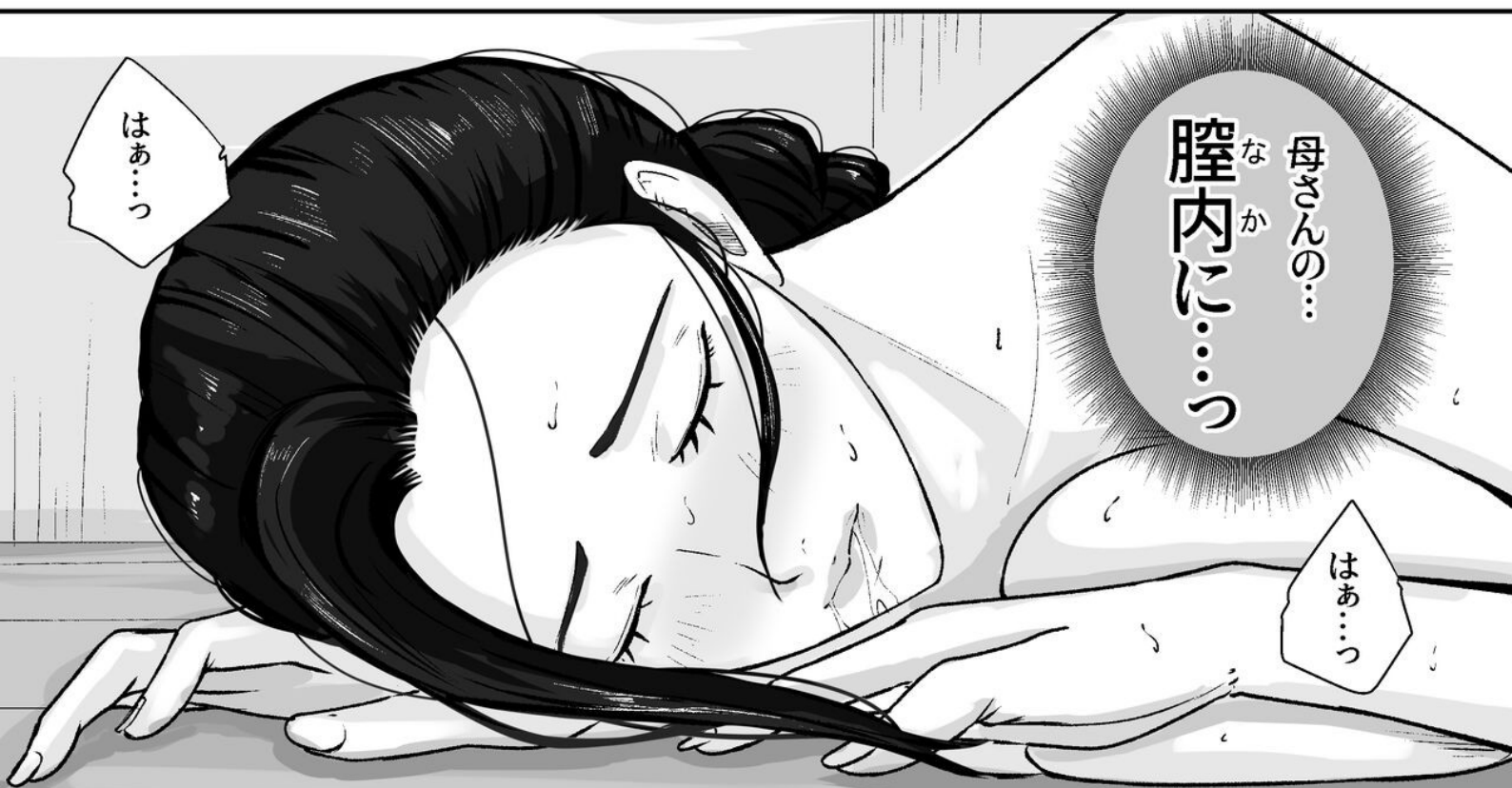
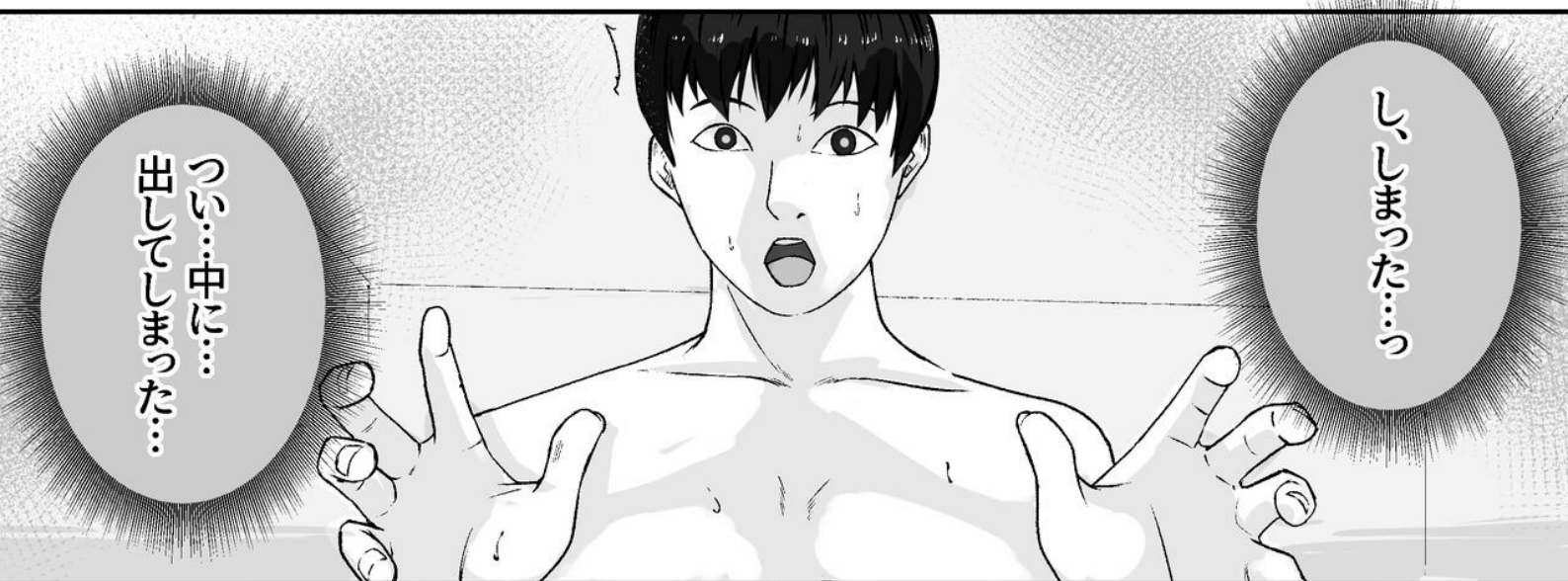
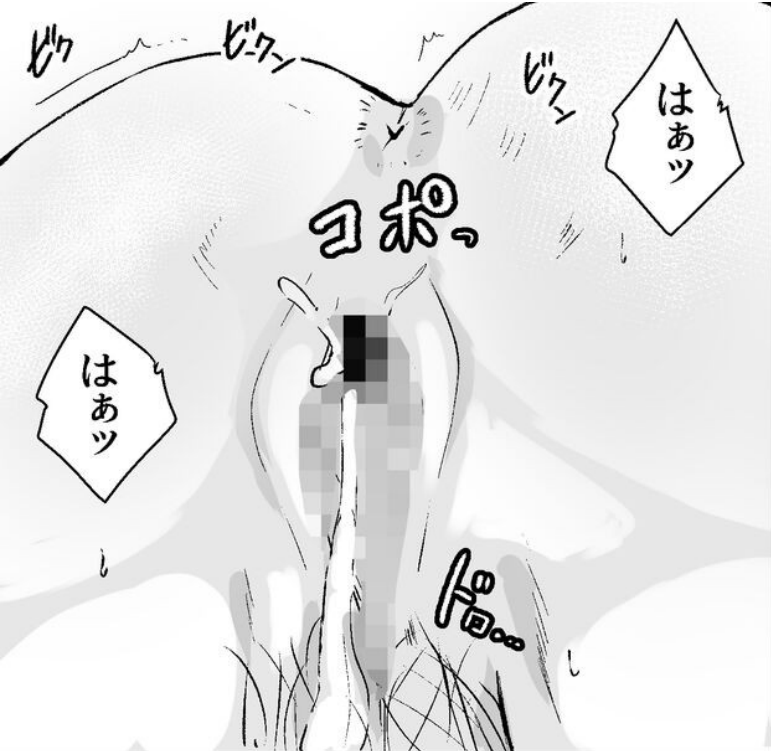
中出しでも...

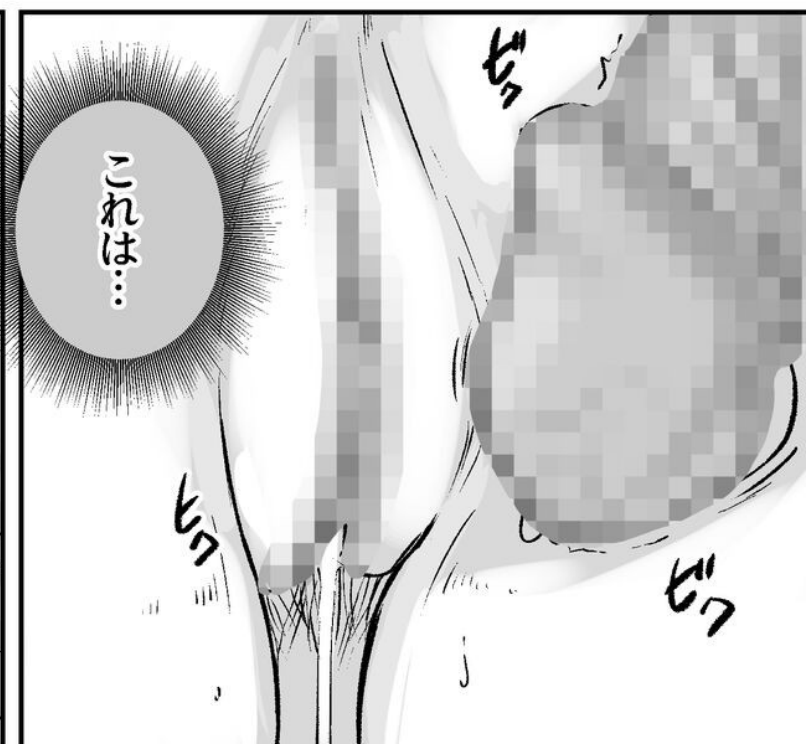
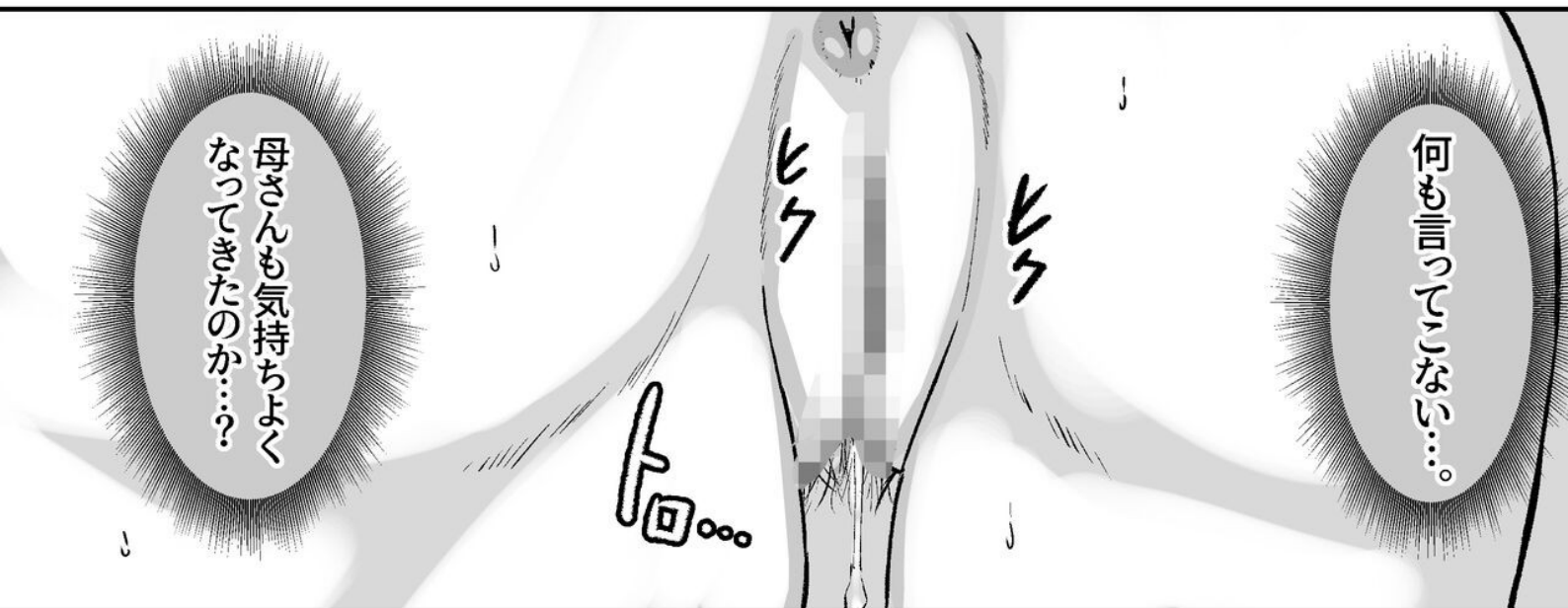
はっ

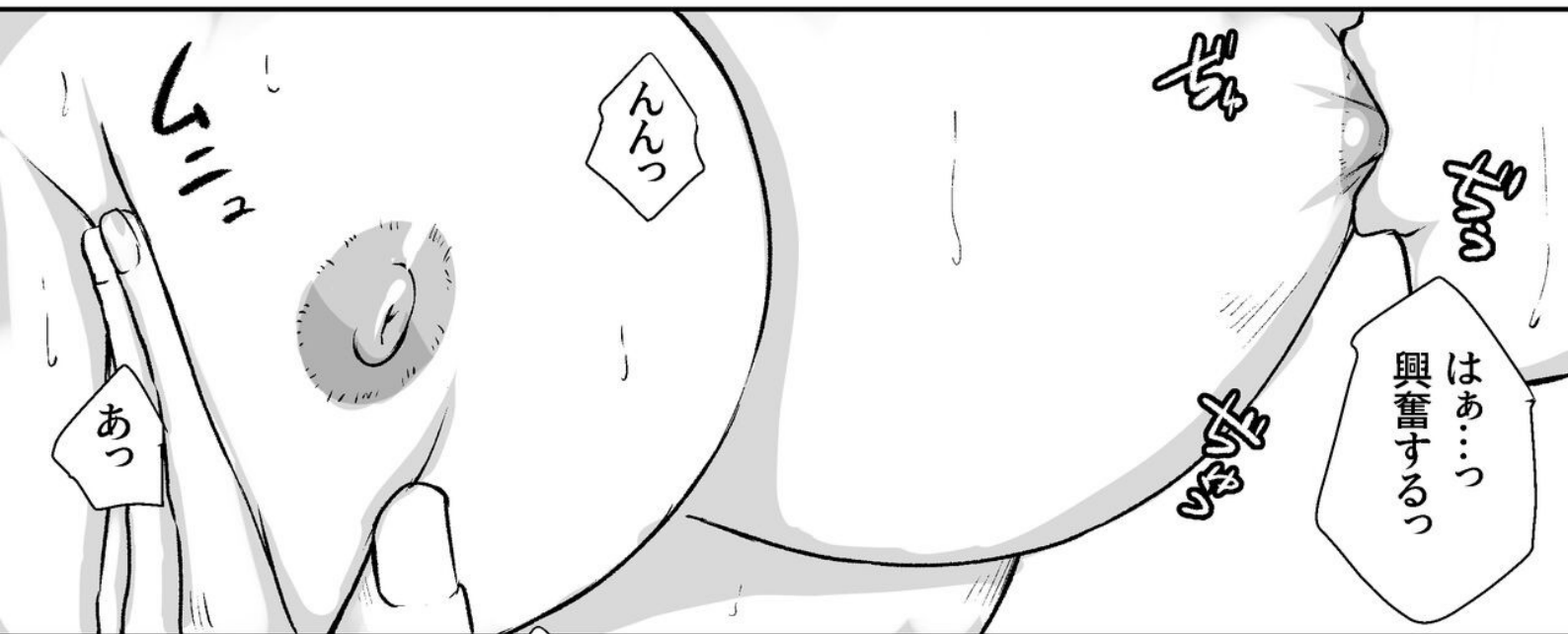
ひゅ

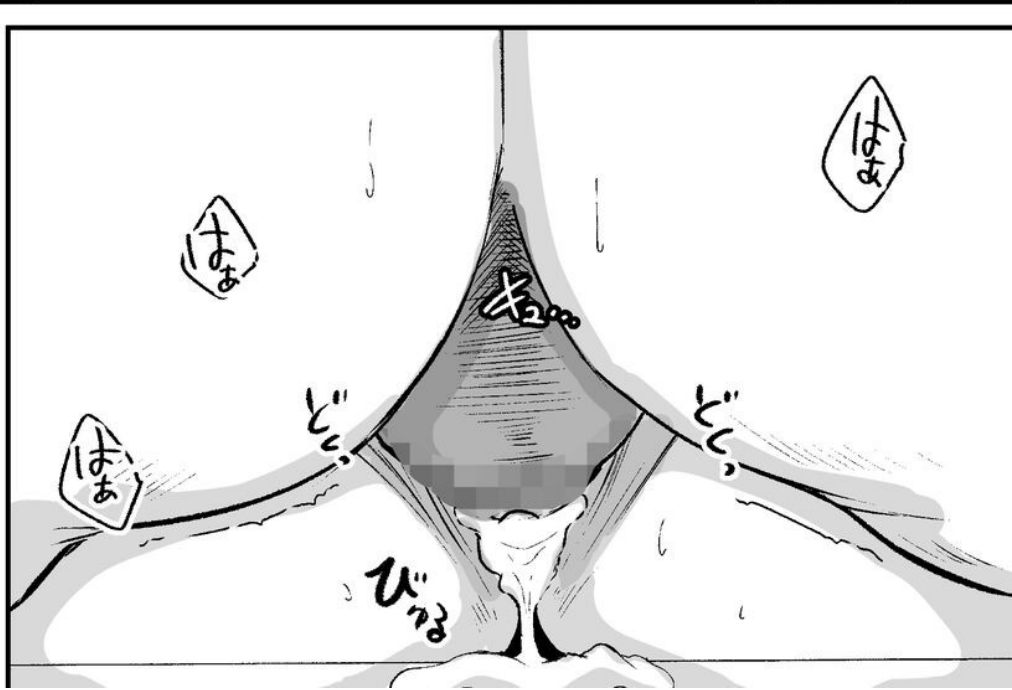
ぽん

してやれば
良かった。













だ…出して…

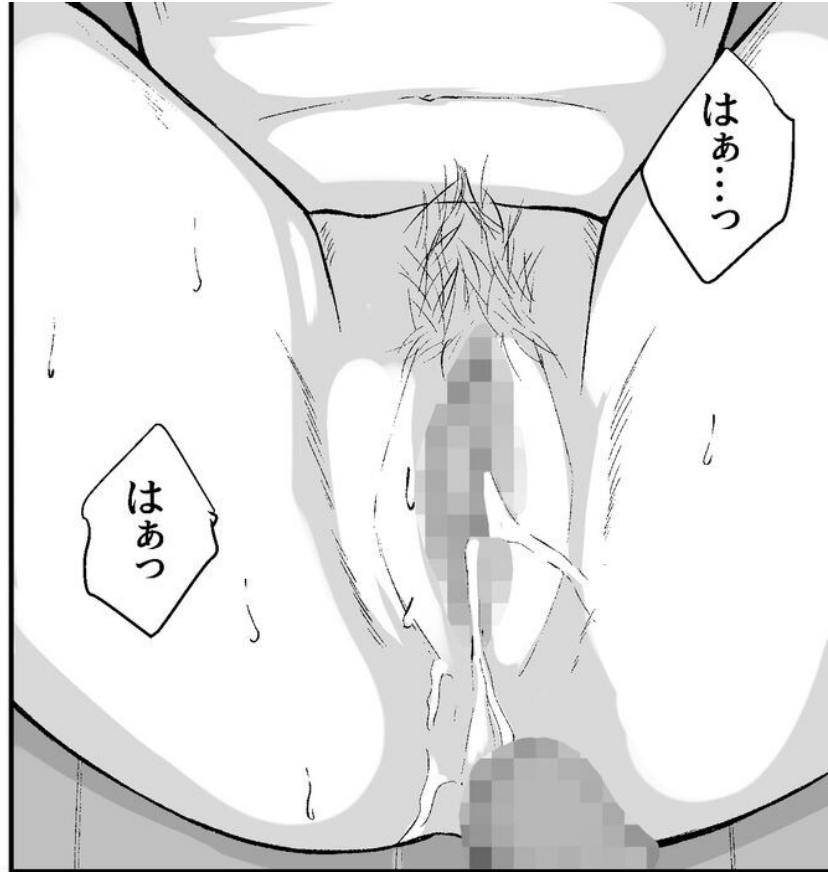
な、^{なか}腔内で…
いいから…っ

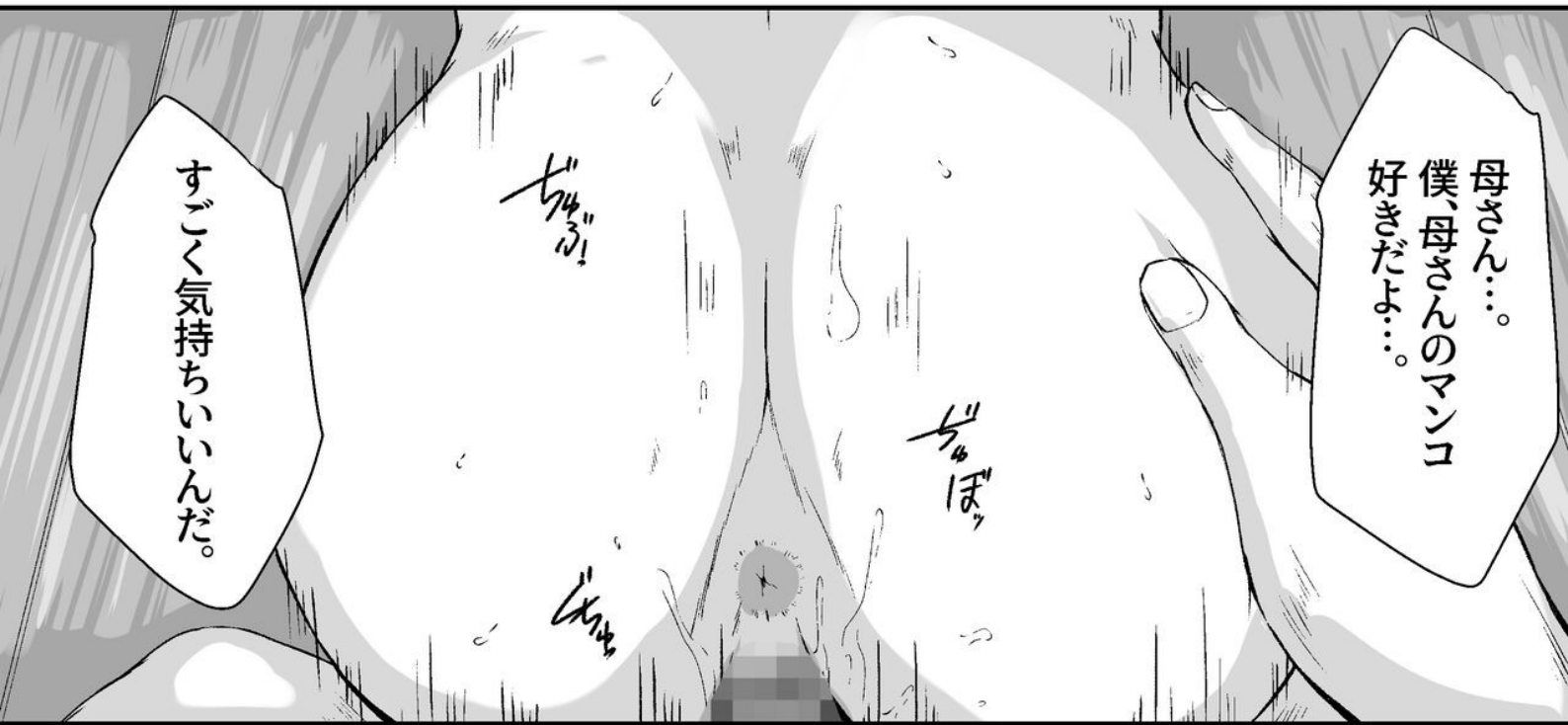
はあッ

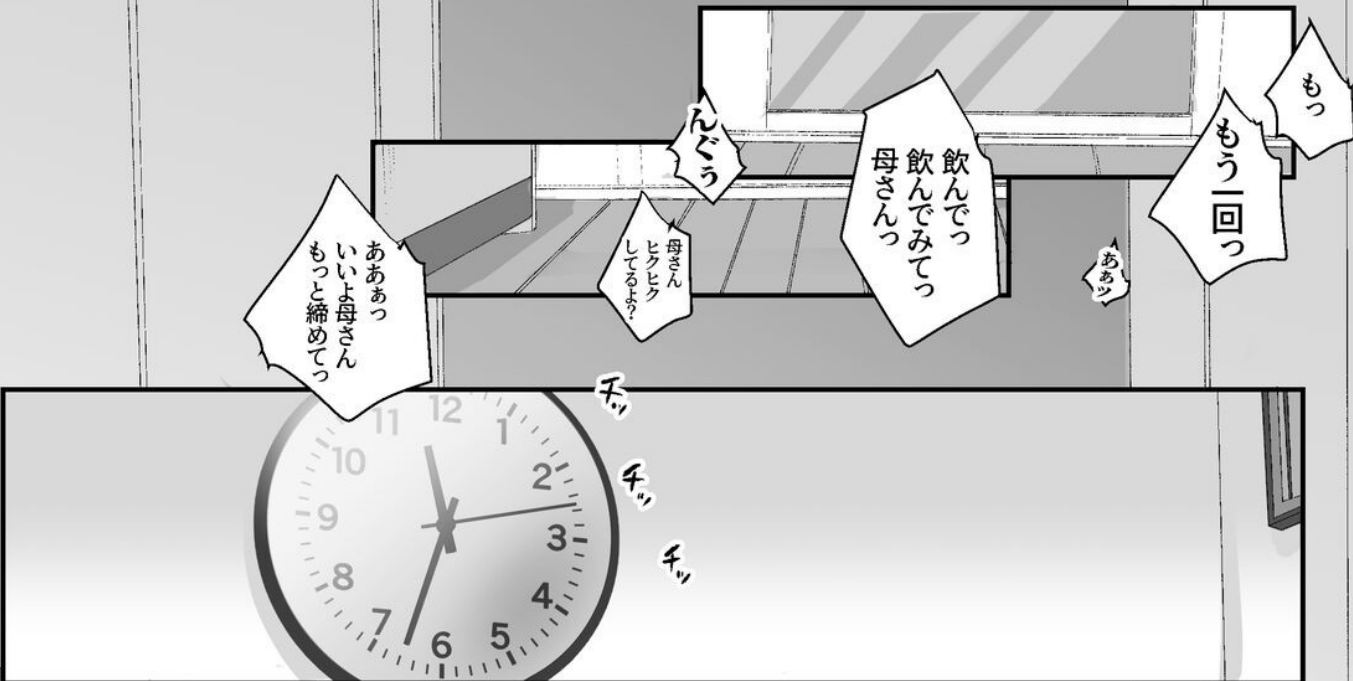
はあッ

ああ…っ!!出るっ出るうッ!!
中に出てるよっ母さんッ!!
いっぱい中に出してるよ…ッ!!

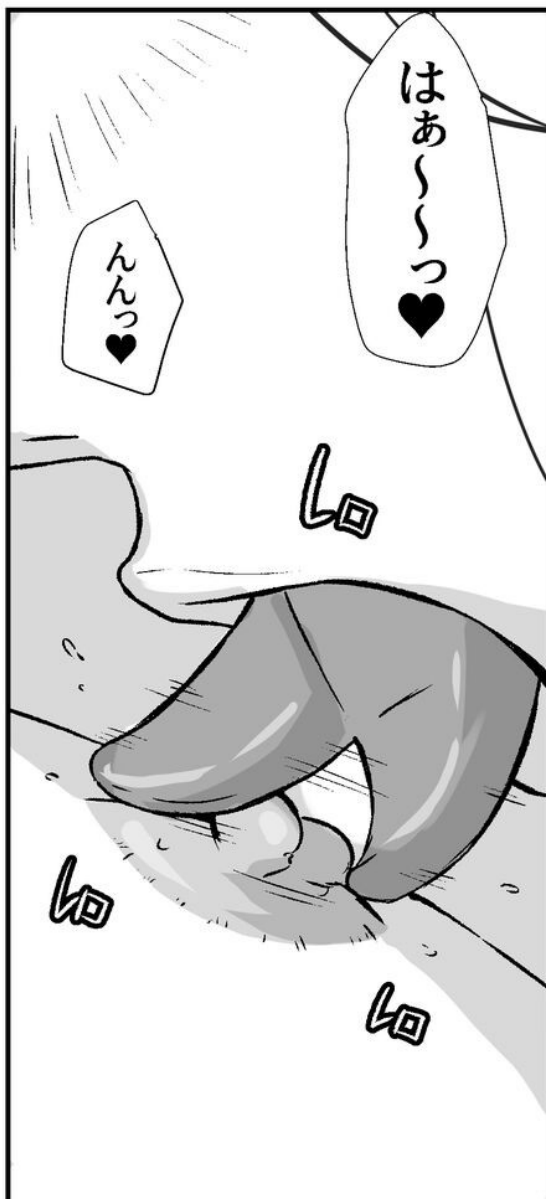
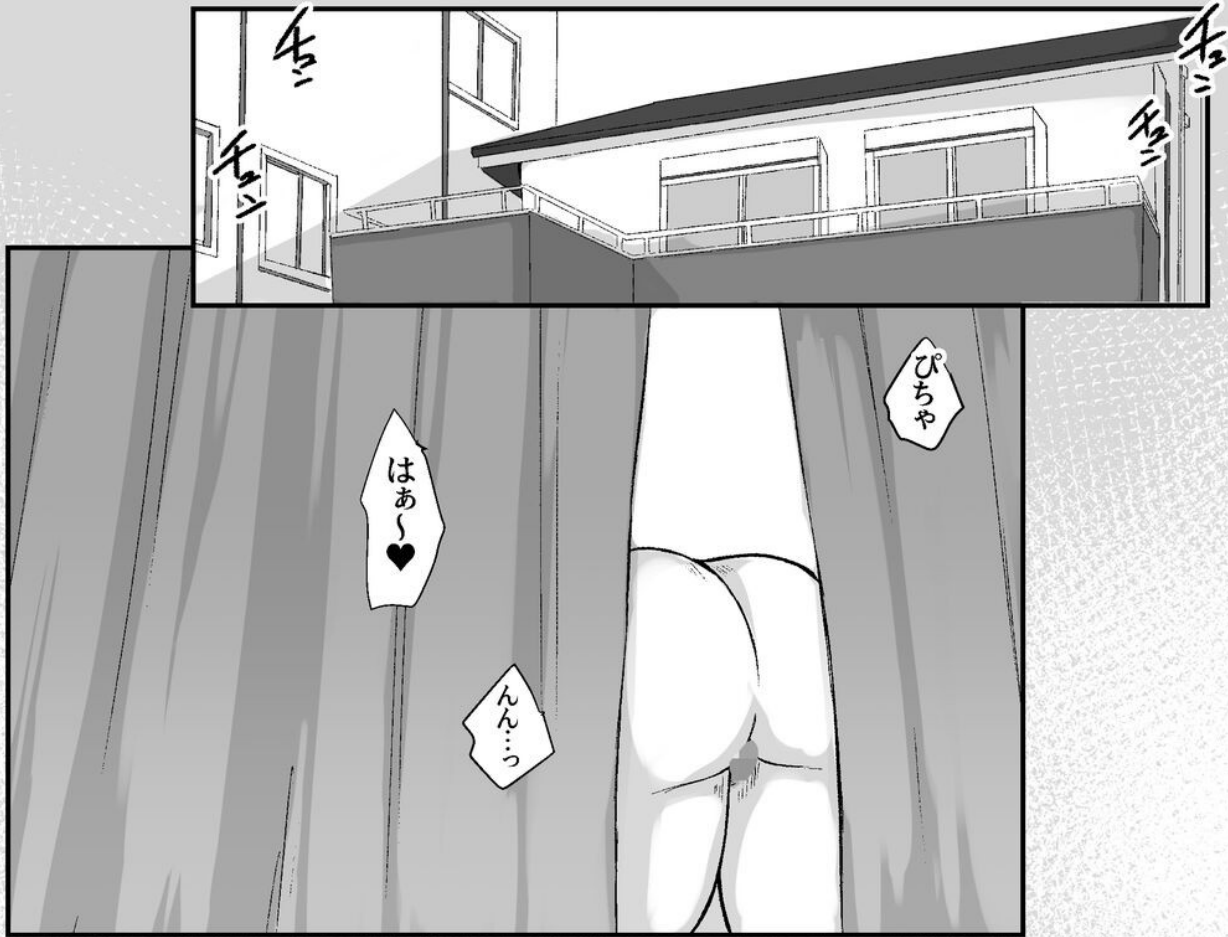
ゆるひてえッ!!
もっ…













しょっか♡

昨日の…
つづき♡

え…



あっ♡

起きたあ♡



もう…♡
お母さんに
あんな事して…♡

ちょ

母さんっ!?

思い出しちゃった
じゃない♡

責任…
とんないよ…♡

こうして僕の失恋の記憶は薄れていったのであった。



